

トヨタ式「ポカヨケ」による ポカミスゼロへのアプローチ

～簡易ポカヨケからポカヨケ機器の機能維持、仕組みの体系化まで～

日時 2020年12月3日(木) 10:00~17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム 東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込) ※同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円
 ※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
 (記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

日刊工業新聞社セミナー会場案内図



【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅(A2)出口より徒歩3分
 東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅(8番)出口より徒歩4分
 都営浅草線 人形町駅(A6)出口より徒歩3分
 ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でこ来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
 申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
 振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部
 TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

受講申込書		12/3 ポカヨケ		お申し込み先 <input type="text" value="日刊工業 セミナー"/>		<input type="text" value=""/>	
				https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search			
会社名	フリガナ			業種			
氏名	フリガナ	部署・役職					
所在地	〒			E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>		
備考							

開催主旨

我々の生産の場からは時々刻々多くの品質不具合が発生しています。その殆どが「ヒューマンエラー」として扱われています。それに対する有効な手段として『ポカヨケ』が各分野で採り入れられております。確かな品質の確保に向けて、トヨタでは3つの保証、即ち悪いモノを「受け取らない」「作らない」「流さない」の3ナイ活動とそこで顕在化した不具合現象の真因を明らかにする「なぜなぜ分析」をセットで展開し、再発防止を図っています。具現化にあたり担当者の経験と知恵も取り込み、指差し呼称、レ点チェック等の「ソフト的ポカヨケ」、簡易な機構や回路が組み込まれた「ハード的ポカヨケ」、更には源流に遡った「設計的ポカヨケ」などが工程の完成度に対応して「ポカヨケ構想」として採用されています。一方、簡易で低コストの手段（ポカヨケ）を模索中の企業様も多々あります。

本セミナーでは後者の企業様向けにトヨタ生産方式（TPS）の中核を担ってきた講師が、TPSの考え方に基づくポカヨケ（不良撲滅手段）を解説します。「簡易かつ低コストで構築できるポカヨケ」による機能の維持から人中心のポカヨケのしくみの体系化まで事例を含め紹介します。明日から実践でき、ポカミスゼロに繋げる方法を伝授します。

講師

豊田エンジニアリング株式会社 チーフコンサルタント **荒井 耿介 氏**

【略歴】 トヨタ自動車に入社以来、長年にわたりハイエースの組立作業に従事。その間、「日本品質管理賞」「PM賞」などを受賞する。1999年からは生産調査室にてTPS（トヨタ生産方式）の指導に当たる。2002年に豊田エンジニアリングに移籍し、チーフコンサルタントとして国内のシートフレーム製造会社や海外のヘッドライトメーカーなどの指導・支援を行う。TPSの中核となる生産調査室在籍時にトヨタ系工場の支援活動で陣頭指揮を執り、その経験を生かした、自動車産業を含む様々な製造業での支援活動で高い評価を得ている。

プログラム

1. イントロダクション

- 1-1 トヨタのモノづくり
- 1-2 原価意識
- 1-3 動きを働きに変える
- 1-4 自動化

2. ヒューマンエラー

- 2-1 ヒューマンエラーとは
- 2-2 ヒューマンエラーが主役に
- 2-3 原理と分類
- 2-4 人間工学からの約束

3. 自工程完結

- 3-1 品質は工程でつくり込む
- 3-2 3つの保証
- 3-3 良否の選別
- 3-4 一作業一検査

4. 真因の追求と対策

- 4-1 不良を認識する
- 4-2 品質情報と解析
- 4-3 なぜなぜ分析

5. ポカヨケ構想

- 5-1 ポカヨケ構想
- 5-2 望ましい姿と制御のしくみ
- 5-3 ポカヨケの為の自動化の要件
- 5-4 ポカヨケの真の目的

6. ポカヨケの過信は禁物

- 6-1 装置は故障する
- 6-2 装置の保守保全
- 6-3 QAネットワークで二重三重に
- 6-4 標準順守の重要性
- 6-5 最後の砦は人

7. 工場に於ける実施例

- 7-1 作業員提案のポカヨケ例
- 7-2 保全提案のポカヨケ例
- 7-3 生産技術のポカヨケ例

8. 質疑応答・技術相談